

☆ 世 界

綿花見通

綿花価格急落を受け作付面積縮小へ——12/13 年度

国際綿花諮問委員会 (ICAC) によると、綿花価格の急落を受け 2012/13 年度の世界の綿花作付面積は前年比 8%減の 3,330 万ヘクタールで、生産量は同 6%減の 2,510 万トンとなる見通し。

2010/11 年度に記録的な高値を更新した綿花価格は、今期 (2011/12 年度) に急落し、農家の収入を減少させ、綿花は化繊にその需要を奪われた。これを受け、2012/13 年度の綿花生産は、米国、ウズベキスタン、オーストラリアを除く各生産大国において減少する見通し。

2012/13 年度の世界のミル消費は、アジアに牽引され前年比 3%増の 2,500 万トンと増加傾向にある。ただしこれはテキスタイル製品及び原料繊維の消費を促す世界経済成長の回復を前提とした予想である。

ミル消費が拡大し、綿花価格が低水準で推移するとの予想から、2012/13 年度の世界の綿花貿易は、輸出が前年比 9%増の 840 万トンで回復する見通し。生産とミル消費がほぼ等しくなることから、世界の綿花在庫は 1,160 万トンで微増にとどまる見通し。

世界の綿花需給見通し

(100 万トン)

	2010/11	2011/12	2012/13
生産	24.9	26.9	25.1
消費	24.5	24.4	25.0
輸出	7.6	7.7	8.4
期末在庫	9.0	11.5	11.6
価格*	0.78	1.64	

*Cotlook A インデックス (ドル/ポンド)

☆ 中 国

繊維業況

2011 年下半期の繊維輸出に懸念

2011 年上半期の中国の繊維品輸出は好調に推移した。しかし、この要因は、主に商品単価の上昇に起因している。しかしながら、商品単価の上昇は、原料コストおよび人件費の上昇分を全て吸収しきれていない状況であり、繊維企業にとって厳しい状況であるという。2011 年に入り、人件費は 20-30% 上昇していると伝えられており、7 割近くの繊維企業が打撃を受けているという。繊維輸出企業は、一般的に利益率が低

く、コスト上昇を海外企業へ転嫁するのは難しいという。

2011 年上半期の中国の繊維品輸出を相手別に見ると、アセアン向け輸出は好調であったが、アセアン諸国からの注文の多くはアパレル生地、補助材料など単価の低い製品であるため、欧米、日本向けの注文の鈍化や減少の影響をカバーし切れていない。日本向けは、東日本大地震発生以降も安定している。欧米諸国向けは、需要低迷の影響が懸念されている。欧米諸国では、消費者の購買力が抑えられるだけでなく、低価格衣料を求める傾向にあるが、この需要の変化は、中国企業が直面する高コストの現状にマイナスである。全米小売商協会 (NRF) の調査によると、最近では欧米諸国の消費者はウォールマートのような大型ショッピングセンターで衣類や日用品を購入する傾向が高まっているという。

さらに、多くの繊維輸出企業は、下半期の人民元切上げを懸念している。人民元の切上げによって海外企業との交渉が難しくなり、このコスト上昇分は最終的には中国の企業自身が消化しなくてはならず、また、中国の銀行の民間への融資利率も先高の見込みであることから、2011 年下半期の、繊維輸出企業の経営は厳しさが予想されている。

繊維需要

土木用テキスタイルの生産拡大見通し

中国産業用繊維協会によると、2010 年の中国の土木用テキスタイルの生産は 45 万トに達した。今後 5 年、年 2 桁成長が見込まれ、2015 年の同テキスタイルの生産は 73 万トに達する見通しであるという。

中国の土木用テキスタイル生産は、2006-2010 年の過去 5 年間で年率 35.3% の大幅な伸びとなった増加を記録した。これは繊維全体の成長率 (16%/年) を大きく上回った。同協会では、高成長の要因として、大規模な政府によるインフラ投資 (三峡ダム、南水北調、青蔵鉄道、北京～上海の高速鉄道等) が需要拡大に寄与したとみている。今後についても、鉄道、高速道路、空港、ダム、環境関連などの需要が中国で引続き増加することが見込まれている。

同協会によると、現時点で、中国は世界最大の土木用複合材料の市場であり消費量は 3 億 m²/年、また、不織布の生産のうち、土木用は 40% を占めるという。

化繊業況

ポリエステル需要、減速の見通し

中国化繊情報網によると、綿花代替として 2011 年下期に拡大したポリエステル需要が減速の兆候を見せ始めている。

2011 年 9-10 月の綿及び化繊製品 (糸・織物・衣料) の輸出数量デー

タによると、10月は綿糸が9月比3.7%増、綿織物が同0.65%増で増加しているのに対して、化繊糸が9月比4.29%減、化繊織物が同8.1%減と減少。また、9月の化繊衣料品は前月比5%減にとどまっていたが10月に入り前月比18.69%減と大きく減少し、その下げ幅が顕著であった。

2010年6月以降上昇を続けた綿花価格が今年4月に下落して以降、ポリエステルと綿花の価格差が縮小するにつれ、ポリエステルは今後綿花に対する比較優位性を失い需要が縮小することが懸念されている。

なお、中国の繊維品輸出は、金額ベースでは9月・10月と前年比で二桁成長を続けているが、数量ベースでは減少傾向にある。

2011年9-10月輸出量

単位：%

品種/月		9月		10月	
		前年同期比	前月比	前年同期比	前月比
糸	綿	-22.74	-7.26	-23.68	3.70
	化繊	4.27	-4.54	6.57	-4.29
織物	綿	-10.28	-0.55	-5.81	0.65
	化繊	17.05	-5.80	20.37	-8.10
衣料	綿	-14.14	-11.78	-17.74	-12.77
	化繊	5.13	-5.00	-7.11	-18.69

化繊原料

儀征化繊と遠東、合併でPTA生産—年産200万ト

中国石油化工（Sinopec）傘下の儀征化繊（江蘇省儀征市）は、PTA生産で台湾の遠東グループ傘下の遠東控股と合併会社を設立することで合意した。儀征化学が40%、遠東控股が60%を出資する。総投資額は6億ドルで、揚州化学工業園区で2012年中に着工し、工期は27～30ヶ月の予定。

両社は、スケールメリットを生かして競争力を高める狙いで、PTAの生産能力を当初計画の2倍である200万トに引き上げる方針。

以上